



## 埼玉県立所沢高等学校 定時制

〒359-1131 埼玉県所沢市久米1234番地

西武池袋線 西所沢駅下車 徒歩8分 所沢駅下車 徒歩15分

TEL 04-2922-2185 FAX 04-2925-4448

URL <http://www.tokorozawa-h.spec.ed.jp/>

1 募集定員 定時制課程 普通科 1クラス 40名

2 沿革 ～ 今年で54年目 ～

昭和41年 所沢高等学校 定時制課程併設 (定時制の歴史がはじまる)

3 生徒状況

(1) 生徒在籍数 (5月1日現在) 69名

(2) 生徒の年齢構成

R3, 4.1 現在

学年	年齢	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	26~30	小計	合計
1年	男	13		1	1	1					16	21
	女	5									5	
	計	18		1	1	1					21	
2年	男		7	2							9	18
	女		6	2		1					9	
	計		13	4		1					18	
3年	男			3		1					4	12
	女			6	1	1					8	
	計			9	1	2					12	
4年	男				8	1		1	1	1	12	18
	女				2	2	2				6	
	計				10	3	2	1	1	1	18	
合計		18	13	14	12	7	2	1	1	1	69	69

(3) 出身地区別生徒数

所沢市 53名

入間市 7名

狭山市 5名

川越市 2名

日高市 1名

新座市 1名

#### 4 目指す学校像・重点目標

##### (1) 目指す学校像

多様な生徒一人一人に相応し、社会的自立を促す親身あふれる温かい教育

##### (2) 重点目標

- ・ 授業を大切にし、学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させる。
- ・ 家庭や地域との連携を強め、教育活動を一層充実させる。
- ・ 学校行事等の多様な学びの機会を通じて、社会人として自立できる力を育成する。

#### 5 日課

- 17:00 ～ 17:45 給食 授業の前に給食があります。給食は希望制です。  
 17:45 ～ 18:30 1限授業 給食を食べない生徒は1限までに登校すればOKです。  
 18:35 ～ 19:20 2限授業 授業は45分です。  
 19:25 ～ 20:10 3限授業 休み時間は5分しかありません。  
 20:25 ～ 21:00 4限授業 1日4時間の授業です。

#### 6 学習内容 ※ ( ) 内は週当たりの授業時数です。

第1学年 現代の国語(2)、地理総合(2)、歴史総合(2)、数学Ⅰ(3)、  
物理基礎(2)、体育(2)、保健(1)、英語Ⅰ(2)、情報Ⅰ(2)

第2学年 言語文化(2)、公共(3)、数学Ⅱ(2)、化学基礎(2)、体育(2)、  
保健(1)、美術Ⅰ(2)、英語Ⅰ(2)、家庭総合(2)

第3学年 文学国語(2)、世界史探究(3)、日本史探究(2)、数学Ⅱ(2)、  
生物基礎(2)、体育(2)、英語Ⅱ(3)、家庭総合(2)

第4学年 文学国語(3)、日本史探究(2)、数学A(2)、地学基礎(3)、  
体育(1)、美術Ⅱ(2)、英語Ⅱ(2)

※ 上記の他、各学年で総合的な探究の時間とホームルーム活動があります。

#### 7 学校行事

- 4月 入学式、新入生歓迎会、個別面談  
 6月 ボウリング大会、生徒総会  
 9月 遠足、HR面談  
 10月 体育祭  
 11月 文化祭、修学旅行  
 1月 校内成人式  
 2月 予餞会  
 3月 卒業式



## 8 さまざまな支援

本校は、生徒の自立支援のために、様々な分野の専門家の力を活用し、以下のような支援を行っています。その結果、生徒は、学校生活に意欲的に取り組み、将来への不安を自信へと変えています。今後も、社会に出て行くことに不安を感じている生徒に寄り添いながら、「社会人としての自立」に向け、「チーム学校」として多くの外部機関と学習や福祉の分野で連携をとり、生徒たちの明るく幸せな人生実現のための支援を継続していきます。

### (1) スクールカウンセラー (SC)

心身の成長過程にあり、言動、行動に課題がある者も少なくありません。毎週1日SCに来ていただき、教育相談を実施しています。

### (2) 多文化共生推進員、学習サポーター

日本語の習得が必要な生徒や基礎学力の定着が最優先である生徒に対し、授業を理解するための支援と授業前や定期考査前の個別補習を行っています。

### (3) スクールソーシャルワーカー (SSW)

家庭が経済的に苦しい状況である生徒が学校生活を継続できるよう、行政や関係機関と連携して対策を講じてくださるのがSSWです。学校の要請で来校していただきます。

### (4) 就職支援アドバイザー

卒業後の就職につなげるため、就職支援アドバイザーと連携・協力しながら進路指導を行っています。求人票の読み方、面接の受け方、夏季休業中の就職相談会参加等が主な指導内容です。

### (5) 外部機関との連携

わかものサポートステーションのスタッフと連携し、全生徒への面談・大学や企業への訪問・ソーシャルスキルトレーニングを行っています。

## 9 在校生の声

### 【 4年生Mさん 】

中学校時代は体調を崩して不登校でした。相談室登校をしていた時期もありますが、授業に出ていないので、通知表がオール1だったこともあります。3年生では学校に行こうと頑張り、修学旅行にも行くことができました。卒業式の日最後のホームルームでクラスメイトのみんなに、感謝を言葉で伝えることができよかったです。

中学校を卒業した私は所沢高校定時制に入学しました。最初のうちは、また学校を休みがちになりました。ですが、1学期にもらった通知表で英語と物理の成績が赤点だったため、このままではいけないと思いました。2学期からは、せめて勉強は頑張ろうと思い、補習を受けたりもしましたが、休んでいた穴が大きすぎて成績はなかなか上がりませんでした。そ

れでも、なんとか頑張って進級することはできました。

2年生に進級したとき、私は学校を休まないという目標を立てました。ここでリセットして頑張らないと、また同じことが起きると思ったからです。まずは、生活のリズムを整えることで、学校に行きやすくなるようにしました。こうして自分ができることから始めたことで、無理なく学校に行けるようになりました。勉強も頑張り2年生では赤点もなく、欠席もわずか1日で、無事に進級することができました。ギリギリで進級した1年生のときより、自分で決めた目標を達成して進級した2年生の方が、終わったときやりきった気持ちになりました。

3年生では、1日も休まず、勉強を頑張り、行事にも積極的に参加しました。

私はこの学校で、学校に休まずに行く大切さと、自分で立てた目標を達成するためには自分でできることから始めたほうがいいことを学びました。

卒業した後の進路はまだ悩んでいますが、これまでの経験から学んだことは将来に役立つと思うので、未来の私のために今の私が頑張りたいと思います。

#### 【 4年生Yさん 】

私は中国に15年間住んでいました。中学を卒業して、日本に来た私は日本語がまったく話せませんでした。日本語学校に入って1年間努力を重ね、基礎的なFクラスから一番上級のAクラスに移るまでになりました。そんな私は、友人が定時制高校を紹介してくれたこともあり、所沢高校の定時制に入学しました。

入学して1年生になった私は幸いなことに友達はすぐにできましたが、私が心配したのは勉強のことでした。でも、易しい内容から始まったので私でも理解できました。特に国語が苦しみました。でも徐々に慣れて、成績は7や8を取れるようになりました。卒業までには9や10を取れるように頑張っています。私には卒業までには続けたいものがあります。それは皆勤賞です。1年生から今まで私は1回しか遅刻をしたことがありません。

また、私は高1の時からガソリンスタンドで働いています。最初は覚えることも多く大変でしたが今は毎日充実していて、毎日7時間働いていますが時間が過ぎるのが速いです。アルバイトは生活にとってはいい経験と思っています。アルバイトの後、急いで学校に行き、授業の前に日本語の補習も受けています。自分でもインターネットで勉強し、日本語検定試験ではN2に合格することができました。努力が報われました。嬉しかったです。まだN1を合格するという目標があるのでこれからも頑張ります。

私も高校を卒業した後どうすればいいか決まっています。だから今はできることを頑張っています。しっかり勉強して、休まないで学校に行きます。そして残りの高校生活を思いっきり楽しみたいと思っています。その中で将来にやりたいことを見つけたいです。卒業までに学校での日々を大切に、後悔のないように過ごしたいと思っています。

中学校までの段階で、学校に思うように登校できていなかったり、学習でつまづいてしまったりした生徒が本校で社会的自立に向けて成長しています。